

## 医療安全対策研修会

医療安全推進部会

平成22年3月11日全職員対象の医療安全対策研修会が行われました。真剣な面持ちで多くの職員が研修を受けていました。特に転倒に関する分析については、注目を集めていました。当院における転倒の傾向や今後の対策方法話し合い、予防に努めて参りたいと思います。

また、医薬品安全管理では、注意すべき薬剤の使用法や、間違い易さなどの説明があり、誤薬による危険性を再確認いたしました。今後もヒヤリ・ハットを基にチェック体制の強化や工夫を行い誤薬が起こらないよう更に気を引締めていきたいです。医療機器においてはAEDの使用法や注意する点など事務職員にも分かり易い研修が行われました。

## 合同辞令交付式並びに入職式

平成22年4月1日太田正氣記念館（体育館）に於いて合同辞令交付式並びに入職式を行いました。新たに新入職員を迎え新しい風が法人に吹いて参りました。今年度の新入職員は医師を始め作業療法士等多職種に渡り、これから患者様の為、皆さん尽力して下さるものと期待しています。また、当法人の新人研修プログラムにより、各職種間との連携及び情報の共有などをしっかり身に付けてもらい、より良い医療・看護介護サービスを提供していただきたいです。辞令を交付された職員は気を新たに引締め、より一層患者様に尽くし、又ほかの職員から今以上の信頼を得られるよう努力していただきたいです。



### 基本理念

『人間愛に満ちた医療と愛情こもる看護・介護』



医療法人社団正仁会

明石土山病院・介護老人保健施設希望  
つちやま訪問看護ステーション・精神障害者生活訓練施設みどり寮  
精神障害者福祉ホームB型マックナイトホーム



〒674-0074

兵庫県明石市魚住町清水2744-30

TEL:078-942-1021

FAX:078-941-1573

E-mail:info@athp.jp

ホームページもご覧下さい

PCサイト <http://www.athp.jp/>

携帯サイト <http://www.athp.jp/i/>



# Midori

～みどり～

平成22年5月20日発行  
春号みどり



## 木の芽立ちの頃

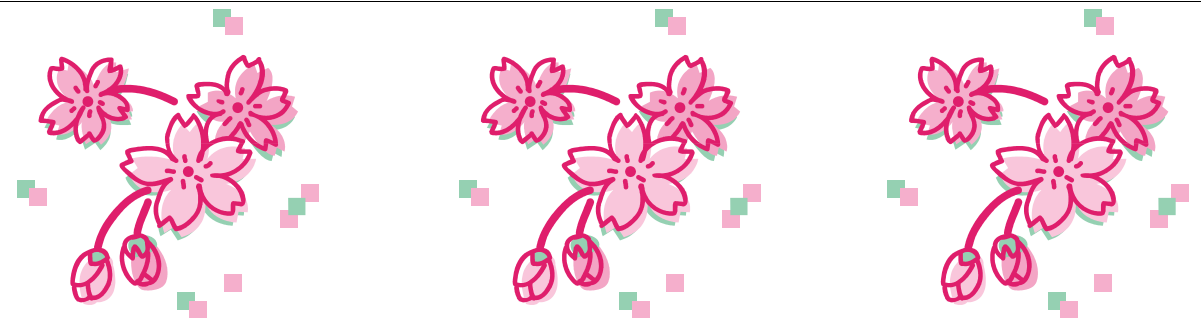
理事長・院長 太田正幸

よく、「木の芽立ちの頃に、精神状態が悪化する」と言われます。実際はどの季節の変わり目でも悪化することがあるのですが、特に、春先に悪化することが多いので、このように言われていると思います。

原因はホルモンバランスの変化を中心とするものだと思います。今年は異常気象のため、寒暖の差が大きく、バランスを崩された患者さまも多かったように思います。私は、この時期、よほど調子を崩された患者さまには入院をお勧めしますが、大部分の患者さまには頓服を差し上げて、しばらく様子を観るよう申し上げます。

今年もそうでしたが、気温が落ち着くにつれ、精神的にも落ち着かれた方々が多かったと思います。

とかく、精神科の病気は一般の方々には理解が不十分なため、少しの変化で、ご本人もご家族も不安定になりがちですが、ご遠慮なく私どもにご相談ください。精神科の病気は患者さまの周辺にいる人たちが支えなければなりません。当然、医師、看護師等病院のスタッフがお手伝いしなければ治る病気ではありません。



## 統合失調症という病気について

医師 山本 康二

前はコーヒブレイクでした。前々回は統合失調症について、精神療法や信頼関係について話をさせていただきました。

第6回は、病気とどう向き合っていけるかについて書かせて頂きます。

### 5. 治療のその他

前々回は、精神療法や患者さんと医療従事者との信頼関係について書かせて頂きました。病気が治まってきても患者さんには不安や焦りが出てくること、それらの気持ちを一人で持たず周囲の人々に相談すること、などが大事だと考えています。

例えば、病気になって病院を受診したが症状がきつく入院して治療を受けた。症状は治まり退院したが外出が苦手になり、将来の不安もありどうしていいかわからなくなり困っている。また、通院も何故しないといけないのか？何故薬を飲み続けたいいけないのか？と疑問を持っている。

こういった疑問を持っている患者さんも多く、自宅にこもり、通院もやめてしまうことが多くみられるようになります。

では、どのように対処していくのがよいのでしょうか？

#### 1. ご自分の症状をどう考えるか？

多くの場合、患者さんが感じている症状は苦痛を伴うものであり、できれば取り除きたいと患者さん自身も思っています。しかし、薬を飲んで治すことは自分が病気であることを認めることになり嫌だ。と考える方も多いようです。

この場合、ご自分の症状によって苦しんでおり、その症状を軽くする方法があるとすれば、それを利用しないのは損なことです。また、症状をそのままにしておけばより苦しくなり、入院の必要も出てきます。

そして、最も重要なことは、このように何度も症状が悪くなればより治りにくくなることです。

最近の治療の考え方では、薬物療法でもそうですが、**コンプライアンス**から**アドヒアランス**へと変わってきています。

**コンプライアンス**とは、“医師が決定したことを言われたとおりに従う”という意味合いでしたが、最近では**アドヒアランス**つまり“患者さんが積極的に治療方針の決定に参加し、その決定に沿って治療を実施、継続すること”が必要だと考えられるようになってきました。

(3 ページに続く)

(2 ページから続く)

ご自分の症状、治療に関して積極的に参加していただき、より納得して治療を受けることでより効果が出ますし、ご自分のご病気に対する理解につながるのだと考えられています。

今回は、退院後のサポート体制についてです。

## 老健 通所リハビリテーションのご紹介

### < 認知症のある方に対応した通所リハビリテーション >

通所リハビリテーションとは、1日約6時間程度、施設に通所して頂き、食事、入浴サービスの他、理学療法・作業療法その他必要なりハビリテーションを行うことにより、身体及び精神機能の維持回復を図ることを目的としています。介護老人保健施設希望では認知症の進行を少しでも遅らせ、規則正しい生活を取り戻し、不安や苛立ちを和らげ、ご本人様・ご家族様にとって、より質の高い住宅生活をお過ごし頂けるサービスの提供に努めております。

### < 脳活性化プログラム・回想法・おしゃれ倶楽部・託児所との交流等 >

認知症の為、すぐに物事を忘れる。コミュニケーションがとりづらいという方でも、楽しい、嬉しいといった感情は残っております。そのような感情に働きかけることで、マンネリ化した生活に程よい刺激を与え、日常生活にメリハリをつけて頂くプログラムを用意しております。

### < もしもの時の支援体制 >

介護老人保健施設希望の認知症専門棟やつちやま訪問看護ステーションによる在宅介護面へのサポート、明石土山病院の精神科医による、カウンセリング、投薬等の医療面のサポートが受けられます。

### < 利用対象者及び送迎エリア >

介護保険受給者で要支援1, 2又は要介護1~5の方  
明石市(明石川以西)、神戸市西区の一部  
稲美町・播磨町の一部、加古川市の一部  
(送迎エリアの目安として片道30分以内です。)

通所リハビリテーションについて少しでも興味を持ち、参加してみたいとお考えになりましたらまずはお電話下さい。

介護老人保健施設 希望  
明石市魚住町清水2744-30  
TEL: 078-945-1511

